

主宰作品

染谷秀雄

筑波風

嗟峨菊の風にかそけきふるへかな  
枯れすすむ葛の葉叢の蕭条と  
灯りたる聖樹の下の暗さかな  
綿虫や紀貫之の邸あと  
どの茶屋も閉ぢて師走の通路みち  
飾りたるサンタクロース脚垂れて  
ただ廻るだけの水車や冬ざるる  
からし菜の一畝筑波風かな  
梅探りつつ言問橋の袂まで  
柀を捜して一日ものを書く